

たいむ

10月号 [H25.10.1 発行]

■ バーベキューをしました ■

8月31日(土) 夏休み最後にみんなで思い出作り！お天気が少し心配でしたが「バーベキューをやりたい！」というみんなの思いが通じてか中庭でバーベキューを行うことができました。いつもはたいむが終了している時間からの始まりだったので外の薄暗くなっただけとは違う雰囲気子どもたちはちょっぴり緊張気味！？お母さん方はいっぱい食べるぞ！というようになんとか嬉しそうな表情でした。

たいむでは子どもたちの育ちの中で大人も一緒に“楽しかった”“またやりたい”と思える経験をたくさん企画したいと思います(ママ企画も大歓迎！)今回のバーベキューも子どもたちが大きくなった時に「たいむのお友だちと一緒に花火やったな」など家族とやるバーベキューとは違った雰囲気を思い出してくれたらいいなと思います。お母さん方も普段、たいむのオープン時間ではゆっくり話せないこともお肉を食べながら、お酒を飲みながらたくさん話したと記憶のどこかに存在することができたら幸いです。たいむで花火をしたことやフルーツポンチを作ったことを大きくなった時に思い出して、将来、自分の子どもと一緒に楽しんでくれたら嬉しいです。(の)



■ 子どもたち手作りのフルーツポンチ ■

大きなすいかを目の前にした子どもたちは大喜び！「みんなでフルーツポンチ作るよ！」という声に子どもたちのテンションはMAX！

早く作りたい、食べたい子どもたちは説明を真剣に聞いていました。その後、スプーンを使ってみんなで上手にすいかをくり抜きました。くり抜いてもくり抜いてもなくなるすいかを途中、ちょっとお味見♥無事に完成し、保護者の方も子どもたち手作りのフルーツポンチをおいしくいただきました。



■もっとやりたい!■

最後にみんなで花火をやりました。限られた数だったので1本ずつ大事に火をつける姿が印象的でした。



■おまけ：お絵かき教室!■

食べ終わった子どもたちが遊んでいるとホワイトボードの周りに人だかりが・・・近づいてみると「のび太描ける?」「次、スネオ描いて」というたくさんのリクエストに応えながらサラサラっと描いてしまう姿に周りで見っていたSくんは「お兄ちゃん、すごいな」とボソッと・・・。保護者の方からも「すごい」と拍手がありました!周りで見っていた子どもたちはサラサラっと描いてしまう姿に「ぼくも描いてみたいな」「できるようになりたいな」という気持ちをもったように感じました(実際に描いてみましたが描けずに他の絵を描いていました)



■子どもの遊びから観えたもの■

今年度の初めの頃は遊びの中で「OOくんも一緒に入れてあげて!」「OOちゃんと一緒に遊べばいいじゃない」という大人の声が多くありました。また、つい大人の都合で「(ご飯だから)帰るから)もうおしまいね」と終わりにしてしまうことも多くあるような気がしました。でも、子どもたちは遊んでいたものを中断されてしまうことで納得できず、うまく気持ちを切り替えることができずに、泣いてしまうという姿も見られました。

しかし、最近はお母さん方も温かく見守ったり、一緒に遊びこむようになったことで「楽しかった」とニコニコして帰る姿に変わったように感じます。

■敵は誰だ!■



Sくんは、何かになりきっていつも戦っています。「鬼がいるぞ!」というSくんの声(どうやらSくんには鬼が見えるよう)を聞いたTくんは、らくがきコーナーの方を指さして「怖い…」と涙を流していました。すると、SくんはTくんの側にきて「大丈夫!僕がやっつけてあげるから!」と、一人、らくがきコーナーの方にたくさんのボールを持ち、武器に見立て、むかって行きました。その後ろ姿を見守るTくんとスタッフ、そしてSくんのお母さん。しばらくすると「もう大丈夫!僕がやっつけたから!」と笑顔で帰ってきました。そして、「おいで」とTくんを誘い、らくがきコーナーに行きました。

TくんはSくんに助けもらったのがとても嬉しかったようで、それ以来、たいむに来ると頼れるお兄さんSくんを探し、一緒に遊べるのを楽しみにしているのです。

■ レストランオープン■

Mくんがエプロンをして、ままごとコーナーでごちそうを作っていました。気がつくといく机の上にはたくさんのごちそう！しかし、「食べてくれる人がいないなあ〜」というような表情のMくん。すると、Tくんがニコニコしながらやってきて椅子に座りました。Mくんはにっこり笑って「これもどうぞ」とお茶を入れてくれました。嬉しそうにごちそうを食べるTくん。それを見守るMくん。



初めはそれぞれ別のところで遊んでいた二人。また、Mくんは普段お母さんやスタッフにごちそうを作ってくれることが多かったのです。

2歳児は“自分のものは自分のもの 友だちのものも自分のもの”ということが特徴的に多く、つい使ってもいないのに自分のそばにおもちゃを集めてしまうことが多くあります。

そんな中でMくんがTくんを優しく受け入れてくれたことで「一緒に遊ぼう」という言葉がなくても側に行ったことがきっかけで自然に遊び始めたのでした。

■優しい王子さま♥■

“お姫様ごっこ”を楽しんでいたYちゃん。そこへブロックで作ったカッコいい武器を持ったFくんが来たので「王子様になってくれない？」と声をかけると「やだ〜」とどこかへ行ってしまいました・・・。(他の男の子たちにも声をかけていたのですが王子様役は断られてしまっていたのです)「もう(お姫様ごっこを)やめた！」とYちゃんが言ったとき、横でFくんが廊下にぶら下がっている猫にむかって「バンバン！！」それを見たYちゃんが「私もやりたい」とスタッフに言いました。すると「おいで」とFくんはYちゃんをブロックのところに呼んで、自分と同じ武器を作ってあげたのです。それにはYちゃんも大喜び！同じ武器をもって猫をタッチして楽しんでいました。「作って」という言葉がなくても「やりたい」という気持ちをわかってくれ、一緒にやるには武器が必要だと思い、自ら作ってあげる姿は素敵だと思いました。Yちゃんはお姫様ごっこをしてFくんと遊びたかったのだけれど、武器を作ってもらったことでお姫様ごっこではないけれどFくんと一緒に遊ぶことができたことが嬉しそうでした。

■幼稚園バスのお見送り■

毎日、14時前に短大ロータリーに停車する幼稚園バス。「ぱんだ、うさぎ、きりん、こあら」の4台が停車しています。4台のバスを見ながら「おーい！」と幼稚園児に声をかけたり、「ぼくはきりんバスに乗るんだ〜」と幼稚園に入園してバスに乗ることを楽しみにしたり、お兄さん、お姉さんに憧れをもつ子どもたち。反面、お母さん方は「うちの子、バスに乗って幼稚園に行けるのかしら？」「バスの座るところは決まっているのかな？」などとちょっぴり心配そう・・・。

でも、数ヶ月後のお子さんが制服を着ている姿を想像すると表情はとても嬉しそうで子どもたちに負けないうくらい楽しみにしているのが伝わってきます。

